

オンライン

教育シンポジウム in 東京 2023

(第27回)

現行の教育課程が全面実施となって、小学校は3年、中学校は2年が経過しようとしています。現行学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」実現のため、変化の激しい社会を生きていくための「生きる力」が捉え直され、育成すべき資質・能力が3つの柱で整理されました。これに対応した「評価の3観点」については、今でも大きな関心事であると同時に、特に「主体的に学習に取り組む態度」について戸惑われている先生が多いのも事実です。

今回は「評価」をキーワードに、学習評価のねらいや方法、授業やカリキュラムに生かす学習評価について、第一線の講師陣が最新情報を交えながら解説します。また、トークセッションでは、小・中学校の教員の悩みと工夫、事前に寄せられた質問などを踏まえ、学習評価が学習改善や授業改善に結び付き、資質・能力の育成に資するものとなるよう議論してまいります。

本年もオンライン開催となります。多数ご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

プログラム

資質・能力を育てる学習評価のあり方

～ 学校現場の悩みと工夫を踏まえて～

開催方法

オンデマンドによる動画配信

配信期間

3月13日(月) 12:00 ～ 3月31日(金) 20:00 (配信終了)

参加費

1,000円(税込)

・お支払いについては、クレジットカード、コンビニ払いをご利用いただけます。詳しくは本研究所ホームページにご案内がございますのでご確認ください。お申込み及びお支払いについては、お申込み手続き委託会社のサイトからのみとなります。

※お支払い後はご返金できませんので、予めご了承ください。

・お支払い完了後、お申込み時にご登録いただいたメールアドレスに視聴サイトのURLが送られてきます。配信期間内であれば、何度でも視聴ができます。

お申込み期間

2月6日(月) 10:00 ～ 3月26日(日) 20:00

この日時以前はお申込みできませんのでお気を付けてください。

お申込みのご案内



←お申込みは当研究所のホームページからアクセスをしてください。

※お申込み手続き委託先：イベントレジスト株式会社 <https://eventregist.jp/company/>

主催

公益財団法人 **中央教育研究所** (TEL : 03-5390-7488 FAX : 03-5390-7489)

後援





東京都教育委員会、茨城県教育委員会、神奈川県教育委員会、群馬県教育委員会、埼玉県教育委員会、千葉県教育委員会、栃木県教育委員会、長野県教育委員会、新潟県教育委員会、山梨県教育委員会
株式会社 時事通信社

協力

株式会社 学習調査エデュフロント、東京書籍株式会社

資質・能力を育てる学習評価のあり方

～ 学校現場の悩みと工夫を踏まえて～

<p>開会挨拶</p>	<p>公益財団法人 中央教育研究所 所長 三光 穰</p>
<p>基調講演 (30分)</p>	<p>資質・能力の育成に向けた指導と評価 ～観点別学習状況評価のねらいと方法～</p> <p>市川 伸一 先生 (東京大学名誉教授、帝京大学中学校・高等学校校長)</p> <p>東京大学文学部卒業。文学博士。埼玉大学、東京工業大学、東京大学を経て、2019年3月定年退職し、現職。2001年より、中央教育審議会教育課程部会委員として学習指導要領の改訂に関わる。専門は教育心理学。研究テーマは、認知心理学を基盤にした教育のあり方。学校や地域における個別学習支援、「教えて考えさせる授業」に基づく授業づくり、「学びのポイントラー」による地域教育の活性化、などの教育実践活動に携わっている。</p> <p>著書に、『学ぶ意欲とスキルを育てる』(小学館)、『勉強法の科学—心理学から学習を探る』(岩波書店)、『学ぶ意欲の心理学』(PHP 新書)、『学力低下論争』(ちくま新書)、『「教えて考えさせる授業」を創る アドバンス編』(図書文化社)、『教えて考えさせる算数・数学』(図書文化社) など。</p> 
<p>基調講演 (30分)</p>	<p>コミュニケーションとしての評価 ～子どもをみつめる教師の営み～</p> <p>奈須 正裕 先生 (上智大学総合人間科学部教育学科教授)</p> <p>東京大学大学院教育学研究科修了。博士(教育学)。国立教育研究所(現・国立教育政策研究所)教育方法研究室長、立教大学文学部教授等を経て、2005年度より現職。</p> <p>専門は教育方法学、教育心理学。中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会委員。</p> <p>主な著書に『個別最適な学びの足場を組む。』(教育開発研究所)、『個別最適な学びと協働的な学び』(東洋館出版社)、『「少ない時数で豊かに学ぶ」授業のつくり方』(編著、ぎょうせい)、『ポスト・コロナショックの授業づくり』(編著、東洋館出版社)、『次代の学びを創る知恵とワザ』(ぎょうせい)、『SDGs カリキュラムの創造 ESD から広がる持続可能な未来』(編著、学文社) など。</p> 
<p>トークセッション (90分)</p>	<p>資質・能力を育てる学習評価のあり方 ～学校現場の悩みと工夫を踏まえて～</p> <p>コーディネーター 市川 伸一 先生</p> <p>パネラー 奈須 正裕 先生、本田 治子 先生、小柳 美智江 先生</p> <p>小学校の悩みと工夫</p> <p>本田 治子 先生 (目黒区立大岡山小学校)</p> <p>前任校では、研究主任として、教科等横断的に資質・能力の育成を目指すカリキュラム・マネジメントについての研究を進めた。現任校では、児童の学習状況を的確に捉える学習評価の在り方について研究を進めている。</p>  <p>中学校の悩みと工夫</p> <p>小柳 美智江 先生 (横浜市立茅ヶ崎中学校)</p> <p>批判的思考力を育てる授業、主体的に考える学習者を育てる授業などを研究。横浜市教育課程運営改善委員として『横浜版学習指導要領』『授業改善ガイド 単元づくり編』『授業改善ガイド 教材研究・授業実践編』(すべてぎょうせい)の編纂に携わる。『とってまわりのやさしい中学国語の教室』(旺文社)を分担執筆、『ことばが育つ学びのプラン』(三省堂)、『中学校国語科 PISA 型読解力を培うノート＆ワーク』(明治図書出版)で授業実践を紹介している。</p> 

※時間については予定